



復刊第120号  
題字 吉岡弥生

### 巻頭言

副会長 小俣喜久子

茅蜩(ひぐらし)の音が遠のくとも、秋の気配が濃厚になってまいりました。

今年は何年にもない大雨があちこちに水害をもたらしておりますが、先生方にはいかがお過ごしでございますか。ご案内申し上げます。

新しい年号に改まり、早や一年の三分の二が過ぎようとしておりますが「言論の自由」のゆきすぎなのか日本の行く末に何となく不安を感じますのは私の浅学非才故の思考力なのかも知れません。

日本女医学会では総会後、理事会の議題として、まず総会で会員の先生から発言のありました選挙法の改正について目下検討を重ねておりますが次期総会までには決定することをごさいます。また総会の席で

長のご挨拶の中でシンクタンクについて一言ございましたが、これも議事として討議されております。しかし日本女医学会の人材バンクはより多数の女医の人数によってこそ、よりよい人材が選ばれるものと存じますので今後の会員増強を切に願うものでございます。

最後に日本女医学会では只今健康保険組合の被保険者及びその家族を対象として、風土社より一億総健康志向時代に対応した健康に関心ある人々に日本女医学会の先生方が毎日の診療経験からいかにして健康な生活を送ることが出来るかアドバイスは苦言などを会員の先生方に執筆されるよう依頼してまいりました。理事

薬物が子・孫の世代にまで及ぶ遺伝形質の変化・修飾されることを実験的に証明して下さいました。改めて先生の研究心の旺盛さ、ご努力に頭のさがる思いでございました。これは私も会員のみではなく、他の臨床医・医薬に関係ある方には是非聴講して頂きたかったと惜しい気持ちでございました。ワークショップは今回で第三回目が終わりましたがこれからも次々と立派な研究成果が発表されることと存じます。今後のワークショップには全員お誘い合わせてご出席下さいますように学術部の一員としてもお願い申し上げます。私どもの先輩或は後輩がこのように医師として学者として立派な研鑽を積まれていることに肩身の広い思いがいたします。そして若い会員の方々に一層の励みになることと存じます。なお、十一月二十五日場所京王プラザでの学術講演研修会は心理学者として令名高き本明寛先生をお願いしてございます。演題は「創造する心」。会員の先生方には大いにご期待の上ご出席下さいませ。

### もくじ

巻頭言.....	小俣喜久子 (1)
第三回ワークショップ	
妊娠中投与薬物と子孫の機能異常.....	藤井 儔子 (2)
進行性筋ジストロフィー症家系の遺伝子診断.....	齋藤加代子 (3)
精神分裂病の遺伝研究.....	中村 道子 (4)
環境因子と遺伝的素質.....	石津 澄子 (5)
第八回学術研究助成研究経過報告	
VECPで視路の交差、非交差に不均衡を認めた内斜視.....	阿部真知子 (6)
慢性肺炎ことに肺臓機能不全の内科的治療に関する実験的研究.....	宮坂 京子 (6)
白血病性幹細胞に対するヒト遺伝子組み替え型.....	泉二登志子 (7)
コロナー形成刺激因子の作用.....	藤井 儔子 (8)
第21回国際女医学会会議	
学術講演内容の一部紹介.....	山崎 倫子 (9)
M W I A 会議から帰って.....	山崎 倫子 (10)
学術セッションにおける講義を聞いて.....	井尾 裕子 (11)
ヤングフォーラムに参加して.....	牧野真理子 (11)
ヤングフォーラムに参加して.....	吉永 花子 (11)
〈発表論文要旨〉	
成人T細胞白血病.....	井尾 裕子 (13)
乳癌および卵巣癌患者における出生季節分布.....	小俣 梅子 (14)
支那支部より.....	岩瀬 帥子 (15)
山梨支部より.....	杉浦 愛子 (14)
私の大学(関西医科大学).....	金井 美津 (16)
癌を告知されて.....	湯島健康倶楽部発足一年を顧みて.....
湯島健康倶楽部発足一年を顧みて.....	○第35回日本女医学会定時総会のご案内.....
○第35回日本女医学会定時総会のご案内.....	○第12回学術講演研修会のお知らせ.....
○第12回学術講演研修会のお知らせ.....	理事会議事録.....
理事会議事録.....	常任理事会議事録.....
常任理事会議事録.....	会員動静.....
会員動静.....	編集後記.....
編集後記.....	

図3 クロロプロマジンによる体温変動

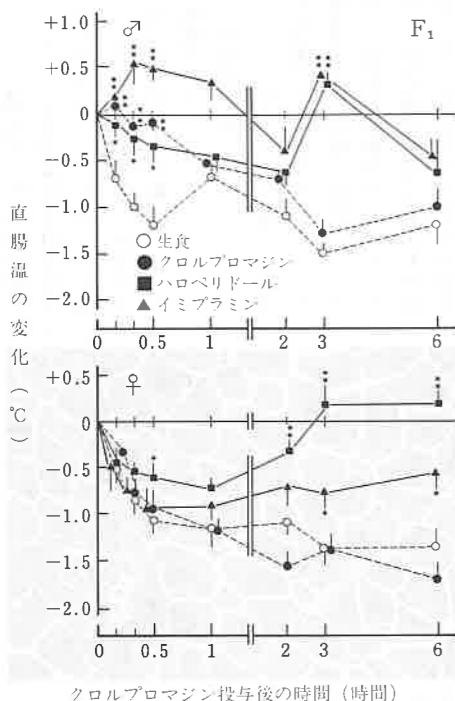
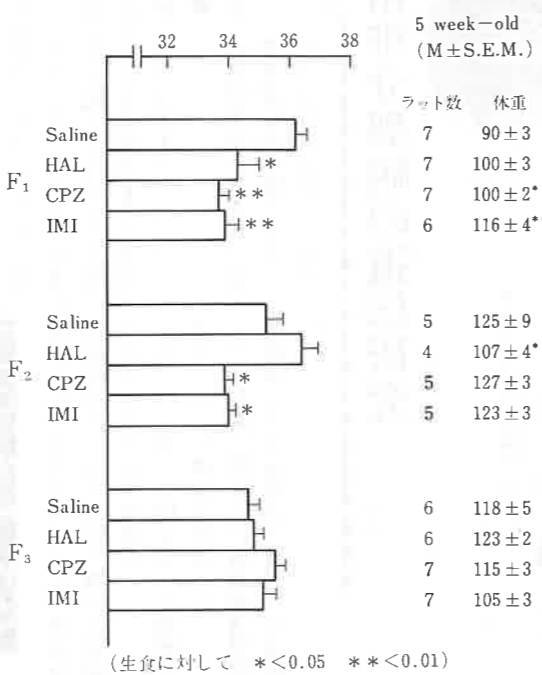


図2 ハロペリドール(HAL), クロロプロマジン(CPZ), イミプラミン(IMI)投与親の第1, 第2世代仔の臍開口の年齢(日)



いホルモンの働きとの関係を有する。三、また、われわれは脳その他の機能発達の異常の有無を評価するのに、薬への反応性を応用している。その理由は、近年薬理学の進歩により多くの薬の作用部位と分子レベルでの作用機序が明らかになるものが多く、これを応用することは、異常のある脳部位を推測するのに役立つからである。その一例としてクロロプロマジン

デュシェンヌ型筋ジストロフィー症(DMD)は、極めて予後の悪い遺伝性筋萎縮症であり、原因の解明と根本的治療法の開発が求められている疾患である。X染色体劣性遺伝形式をとり、新生男児三五千人に一人の割合で発症する。近年の分子遺伝学的研究の進歩によりDMDの原因究明はめざましい発展をとげ、DMD遺伝子がXp21領域に存在し、三六八五個のアミノ酸から成る四二七kbの細胞骨格蛋白である「ジストロフィン」をコードしていることが解明された。従って、



進行性筋ジストロフィー症家系の遺伝子診断

東京女子医科大学小児科 講師 齋藤加代子

筋による体温変動を比較した。クロロプロマジンは室温においてはヒトや温血動物の体温を下降させる。図3にみられるように正常対照群である親に生理食塩液を投与した第一世代ラットでは予想どおり体温の著明な下降が認められたのに対し、母親を通じてハロペリドール、イミプラミン、あるいはクロロプロマジンに曝露されたラットは反対に体温の上昇を示した。特にイミプラミン群の反応変化は著明である。以上は数種の中樞作用薬の例であるが、中樞作用薬以外の薬でも、作

用の強いものは脳の発育・発達に影響を及ぼすことを見出している。近年、強力な薬の出現は昔は不治とされた病気の多くを完治あるいは軽快させようようになった。しかし、精神疾患のみならず高血圧症、喘息、糖尿病など、生涯にわたり薬を服用して病気をコントロールしつつ社会生活を送る時代となった。このことは生体年齢にある者を通して子孫へまで影響が及ぶ薬の危険性を十分に考慮すべき時代になったともいえる。

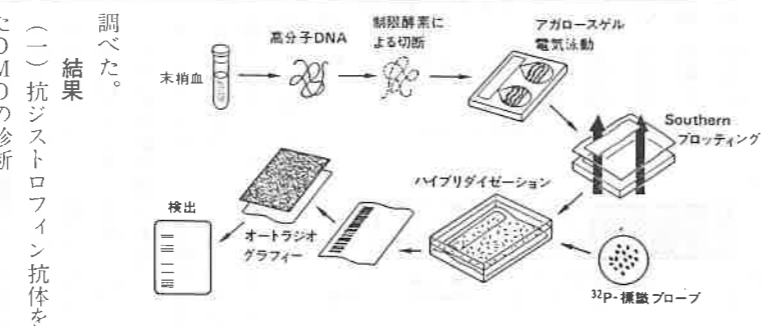


図1 Southernプロット法によるDNA断片の検出法

結果

(一) 抗ジストロフィン抗体を用いたDMDの診断

ジストロフィンに対する抗体を用いて、その筋細胞内局在をしらべた。正常の筋細胞では、筋細胞表面膜が陽性であり(図2a)、DMDでは陰性となった(図2b)。

(二) 患者における遺伝子欠失

十五人のDMDのうち十人、二人のベッカー型(BMD)良性型

	遺伝子欠失症例数	%	保因者診断家数	%
DMD	11	73	8	80
BMD	1	50	1	100
計	12	71	9	90

妊娠中投与薬物と子孫の機能異常



動物実験を中心として 藤井 儔子



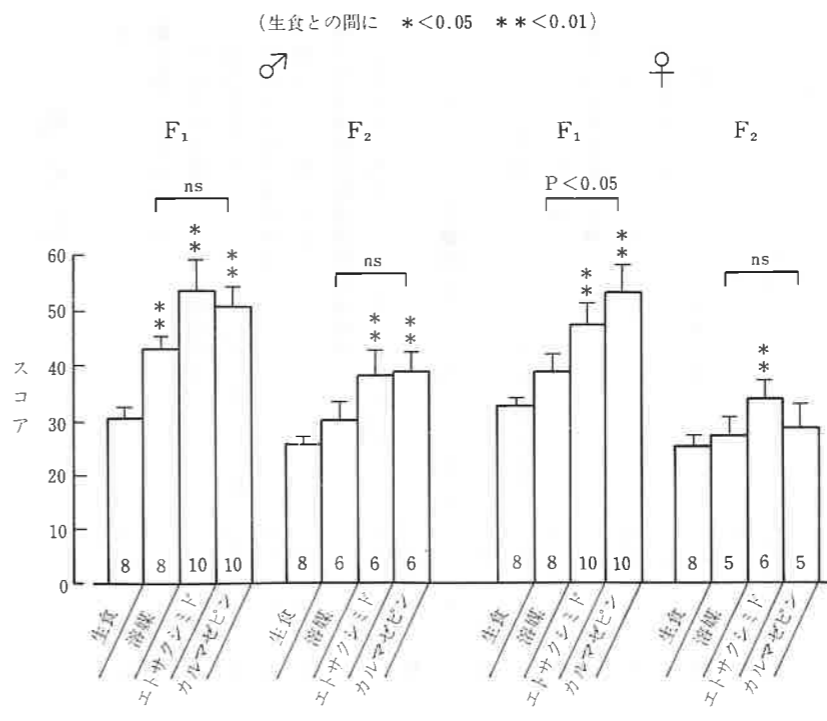
ヒトの先天異常の成因は表1のように大きく三つに分けられる。中でも近年、環境要因への関心が高まっている。われわれは、生体の多くの生理機能発現に際して必要であるカルシウムの代謝調節異常が妊娠母体にあると、その子孫に各種機能の異常を引き起こすことを発見し、その機序について現在も研究 중이다。一方、多くの薬は胎盤を通過することから、胎児への影響の有無については重要な問題である。特に機能の発達への影響については十分なデータが積み上がっていない現状である。本日は、すでに臨床応用されている薬物のうち数種の中樞神経作用薬の妊娠中投与が、動物実験では(ラットを使用)第二世代にまで影響することをみいだした成績について述べる。

まず実験成績に関連した大切な基礎的知識の二、三を述べる。ヒトの

表1 ヒトの先天異常の成因(Wilson,1972)

1. 遺伝要因
2. 環境要因
  - 放射線
  - 感染症
  - 薬物および環境化学物質
  - 母親の代謝異常
3. 遺伝と環境の相互作用および原因不明

図1 抗てんかん薬投与親の第1, 第2世代仔におけるプレイ・ファイティング行動



ない。図1は近頃使用頻度の高いエトサキシミドの比較的小量を妊娠五日から出産前日まで投与した母親から生まれたラット数匹を箱にいれた場合、じやれ合う行動のスコアを記録すると動きが有意に多いことを示す。これは五、六週齢ラットについての観察であるが、ヒトにおける幼年期から学童期の年齢に近い。この第一世代仔を交配して得た第二世代仔にも同様な変化が認められた(図1)。ここには示さないが、抗てんかん薬フェニトインの妊娠中投与の影響として薬物への反応性の変化が二代にわたって認められた。

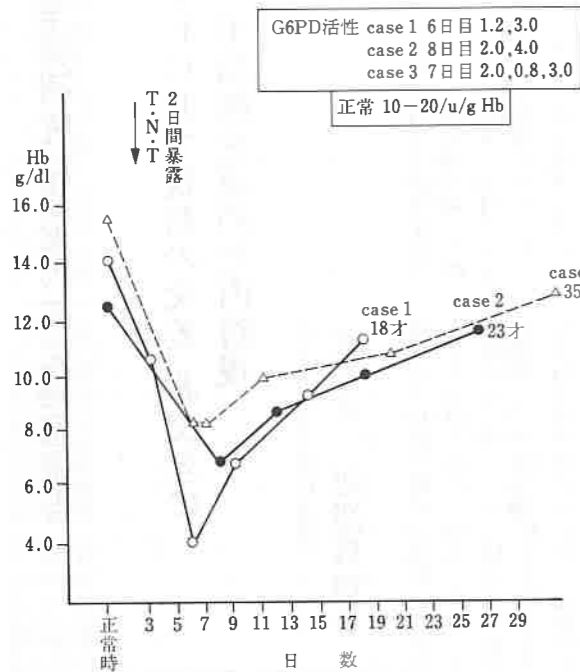
二、抗精神病薬のハロペリドール、クロロプロマジン、抗うつ薬のイミプラミンいずれかを一日一回妊娠中投与したラットから生れた第一世代仔は、臍開口期が有意に早いことがみられた(図2)。クロロプロマジン、イミプラミン第一世代仔から得た第二世代仔も同様な変化を示した。臍開口はヒトの初潮発来期にはほぼ等し

第三回ワークショップ 「環境と遺伝」

て先生方にアンケートの原稿を収集してあります。近いうちに完成します。天高く人肥える秋、しかし気候の変わり目でございます。先生方には一層、ご自愛下さいませようお祈り申し上げます。

平成元年7月15日(土) 於・東京女子医科大学

図1 G6PD欠損者にみられたTNT負血 (L.S. DJERASSIら)1975



この中でよく知られている鎌状赤血球症や地中海貧血症を起しやすき素質保持者は日本人にはまだ発見されていないようである。

また、同じ項で、発癌物質の芳香族アミンの解毒の一つのルートとしてアセチル化が知られている。

表1 環境因子と遺伝的素質

遺伝的素質	増悪因子
赤血球系 G6PD欠損	オゾン, NO <sub>2</sub> , 亜塩素酸塩
鎌状赤血球素因	芳香族ニトロ・アミノ化合物, CO, 胃酸塩
地中海貧血	鉛, ベンゼン
NADH 脱水素酵素欠損 (Met-Hb 形成物質)	Met-Hb 形成物質
カタラーゼ 低カタラーゼ血症	オゾン, 放射線
低SOD活性	バラコート, 放射線, オゾン
肝臓の代謝 グルクロン酸抱合の欠陥 ジルベール症候群 (家族性溶血性黄疸)	PCBを含む生産物の多量
硫酸抱合の欠陥	チラミンを含んだたべものと最もよく関連する。
アセチル化(フェノタイプ) Slow型 Fast型	芳香族アミンによる癌 いろいろな薬剤たとえばイソニアジッド, 肝炎
痛風	鉛
アルコール脱水素酵素バリエーション	正常より早くたとえばエタノールを代謝する。
ウイルソン病	銅, マナジウム

また、血清中のα1アンチトリプシン欠如があると、タバコや呼吸刺激物に抵抗が弱く、塵肺などになりやすいのではないかが検討されている。

以上、遺伝的素質と環境中の化学物質との因果関係について紹介したが、騒音、振動などの物理障害についても同様の結果が得られている。

表2 E.J. Carabresse (1986)

遺伝的素質	増悪因子
偽コリンエステラーゼバリエーション	有機燐化合物, カルバマゼート, 殺虫剤, 筋肉弛緩剤
hA欠損	呼吸刺激物
α1アンチトリプシン欠如 (ヘテロタイプ)	呼吸刺激物, タバコ
酸化の中心の欠損	解毒のために酸化された代謝物を要する多くの物質
オルニチンカルバミールトランスフェラーゼの欠損	殺虫剤, 駆虫剤
パラクソナーゼ変異型	パラチオン
ロダナーゼ変異型	胃酸
重硫酸塩酸化酵素(ヘテロ)	重硫酸塩, SO <sub>2</sub> , 亜硫酸塩
不適当なCS <sub>2</sub> 代謝物	CS <sub>2</sub>
循環器状態 高脂血症	CS <sub>2</sub> , CO, タバコ
ホモシステイン尿	CS <sub>2</sub> , CO, タバコ
呼吸器状態 呼吸刺激物	呼吸刺激物
腎疾患 糖尿病性腎疾患 シスチン腎臓症 シスチン尿 チロシン血症	重金属, 有機溶剤, 重金属, 重金属, 重金属
免疫不全 hA欠損 免疫過激症	ビールス, バクテリア, イソニアゾール

また、血清中のα1アンチトリプシン欠如があると、タバコや呼吸刺激物に抵抗が弱く、塵肺などになりやすいのではないかが検討されている。

以上、遺伝的素質と環境中の化学物質との因果関係について紹介したが、騒音、振動などの物理障害についても同様の結果が得られている。

### 環境因子と遺伝的素質



東京女子医科大学公衆衛生学 前教授 石津澄子

ある職業環境のもとで働いている集団の中から特定の人だけが疾病になった場合、その発生要因は環境因子のレベルと個人的素質(遺伝的素質)の相互作用と考えられている。たとえば、多くの人は健康に働くことができる環境条件が特定の遺伝的素質を持つ人には健康障害を起こすことになり、予防医学的見地からは早く原因を見付けだして疾病の発生を防止しなければならないのである。

いずれにしても、環境因子が遺伝的素質とどのようにかかわっているかを示す事例を挙げてみる。

赤血球G6PD酵素の欠損者や異常のある人に抗マラリア剤やある種の解熱剤を投与した場合、または血液を酸化させるような化学物質に暴露された場合、急性の溶血性貧血が起る。

たとえば、イスラエルから報告された例を見ると、図1の如くで三名

### 精神分裂病の遺伝研究



東邦大学医学部精神科 助手 中村道子

精神分裂病は人間としての根幹的機能である人格を侵す基本的な障害であり、重大で頻度の高い疾患である。患者本人にとっても幻聴や被害妄想に悩まされたり、苦痛と混乱

を伴い、周囲の家族や近しい人たちにとっても大きな混乱と苦悩の渦となるわけである。しかし近年の精神医学の発展に伴い、分裂病の治療は飛躍的に発展し、主に薬物療法によ

のうち一人で遺伝子の欠失が証明された(表1)。欠失の部位はDMDの14kbのeDNAのうち中央と51末端に局限していた。DMDとBMDをあわせて十七例中十二例、71%に欠失が証明された。

(三) 保因者診断

遺伝子欠失例のうち三例で、患者に特有な遺伝子の断片を認めた。これを患者の母や姉妹で証明することにより、保因者診断が可能であった。また、保因者は正常なDMD領域の遺伝子と、欠失を有するDMD領域のヘテロ接合体であるため、オートラジオグラフィのシグナルの濃度をデンストメーターで測り、Gene Dosageを測定する事により同定できる。以上の方法で十家系中九家系で保因者を診断し得た(表1)。

遺伝子のどの部分のどのような異常かが解明され、各症例間の違いも詳細に明らかにされつつある。

さらに一層の正確な遺伝子診断をめぐらし、また遺伝子異常というナイーブな問題に関して、倫理的諸問題を熟考しつつ治療法の発展へと貢献したい。

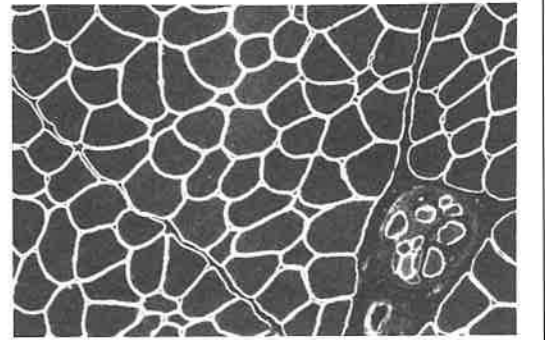


図2-a

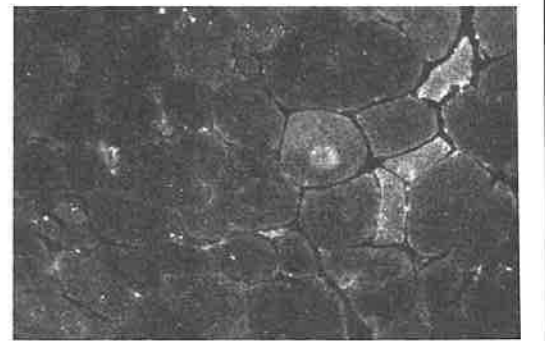


図2-b

り、かなりの割合で軽快するようになってきている。治療学的发展に伴い、病因についても早期に解明されることが望まれる。

分裂病の遺伝研究は統計遺伝学的解析と生物学的素因や遺伝子マーカーによる解析と大きく二つに分けられる。現在までに家族研究、双生児研究、養子研究などの統計遺伝学的解析により、分裂病には遺伝的要因が関与していることが示されている。

最近目覚ましく発展しつつある「新遺伝学」という分野ではDNAを直接解析する方法により、一九八八年十一月にロンドン大学のShering-Boonらは分裂病の主要発病遺伝子が第五染色体長腕上に連鎖していることが報告された。しかし反対に第五染色体との連鎖は認められなかったとする論文も同時に掲載されている。筆者も人間として根本的な精神機能に

障害を来たす疾患がたった一つのDNAの異常によりひきおこされるとは考え難いと思う。

分裂病の遺伝研究には問題点が主として三つある。一つは診断基準の多様性であり、二点目は遺伝様式が不明である点と三点目は疾患の異種性という問題である。遺伝学的研究を始めるにあたってはその疾患の本態や診断が確立されている必要があるが、分裂病は一つの疾患単位としての位置づけも充分明確ではない。また表現型としては同じであっても障害をおこしている遺伝子型がいくつか存在する場合があります。これを遺伝子の異種性と呼んでいる。

統計遺伝学的解析の一つである遺伝子型研究については単因子説、多因子説、混合モデルが遺伝モデルとして考えられるが(図参照)、混合モデルが分裂病の遺伝モデルとして一番現実的であると考える。

生物学的素因とは遺伝的要因を反

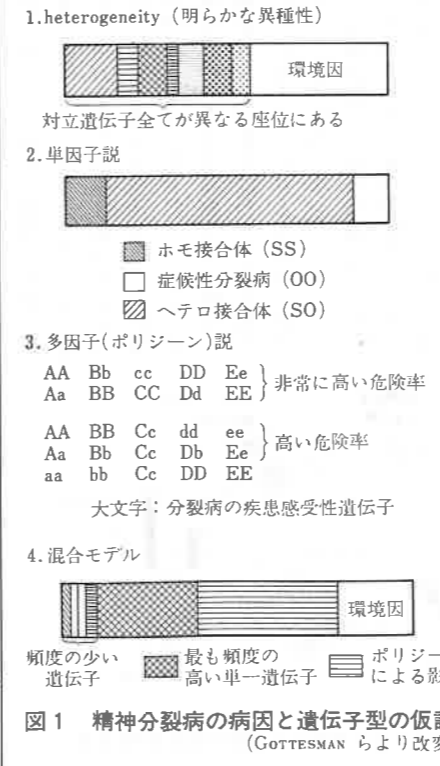


図1 精神分裂病の病因と遺伝子型の仮説 (GOTTESMAN により改変)

学術研究助成者の研究経過報告

VECPで視路の交差、非交差に  
不均衡を認めた内斜視

愛媛大学医学部眼科学講師  
愛媛支部 阿部真知子

私たちは斜視における optomotor effect の性質を筋電図を用いて解明してきた。その結果、内斜では光の影響が同側性の眼球に現われるのに反して、外斜では交差性に現われる(optomotor effect + muscle afferent + visual input + interaction) による作用であることを発見した。今回は、拝受した研究助成金で、次のことを行なった。調節性内斜視を除いた内斜視患者のVECPを測定した。VECPは国際10-20法の0<sub>1</sub>、0<sub>2</sub>から誘導記録した。刺激には flash 光を用いて右眼単独、左眼単独、および両眼同時に刺激を与えながら、0<sub>1</sub>、0<sub>2</sub>からの flash VECPを記録した。その結果、右眼刺激時と左眼刺激時とで、0<sub>1</sub>、0<sub>2</sub>の電位の大きさの比率が逆になる例を発見した。即ち、これらの症例では両眼同時に光刺激を加えたときには、0<sub>1</sub>、0<sub>2</sub>でVECP電位の差がみられない例でも、一眼を遮蔽して他の一眼に光を加えて記録した場合には、光刺激を加えた側のVECPの電位が、対側の電位に比較して常に大きく記録された。即ち、右眼に光刺激を加えると、右大脳半球の電位が大きく、左眼に光刺激を加えると、左大脳半球の電位が大きく記録された。これは、視路の交差成分よりも非交差成分のほうが有意であることを示す。このような例では、全例に斜視の optomotor effect が顕著にみられた。すなわち、恒常性内斜視でも、暗室下におくと斜視が消失、または減弱する。しかし、右眼に光を与えると右眼が内斜し、左眼に光を与えると左眼が内斜する。外斜について検査ではVECPのアンパランスの例は発見できなかった。一般に、VECPでは、右眼または左眼単独に光刺激を加えても、両眼側半盲患者以外ではさきに述べたような現象はみられない。また、今回の結果を Magician's forepaws 現象や optomotor effect が内斜では同側に、外斜では交差性に作用するという事実と比較検討すると、次のような結論が得られると思う。

斜視の成因には muscle afferent (眼筋の自己受容器) と visual input との interaction による作用が影響しているが、visual input のアンパランスが muscle afferent のアンパランスを惹起して斜視の誘引となることを証明するものと思われる。以上の結果は、今後の斜視の治療に新しい分野を開発する可能性を含んでいる。眼球運動には眼筋の自己受容器と visual input が関与し、これらのアンパランスが外眼筋のアンパランスを惹起して斜視を発生させたことを証明できたので、弱視治療で visual input の左右のアンパランスを解消するような治療を開発して行けば、斜視にたいする新しい治療方法になるものと思う。

慢性膵炎、ことに膵臓機能不全の  
内科的治療に関する実験的研究

東京都老人総合研究所臨床第一生理研究室  
世田谷支部 宮坂京子

十二指腸壁から、消化管ホルモンのひとつであるコレチストキニン(CCK)を放出させる作用をもつと想定される、小腸内 CCK-releasing peptide の抽出と作用について、検討を続けている。はじめに予備実験として、ラットの膵管を結紮し、膵液が十二指腸内に存在しない状態を作り、十二指腸内のCCK含有量を経目的に調べた。すると、結紮後、七日目に、腸内CCK含有量は極端に減少し、十四日目に、増加し、三十日目で前値に復することがわかった。すなわち、膵液が小腸内に存在しなくなると、七日目に、CCK-RP がフルに作用を發揮して、十二指腸内のCCKを放出させ、その結果、腸内CCK含有量が低下したと考えられる。なぜこのような予備実験を行なったかという点、ラットは小動物ゆえに十二指腸内膜は一匹につき、せいぜい0.5~0.8g程度しかえられない。一回の抽出に約60g程の材料を要するため、できるだけ、効率のよい抽出方法をこじねばならなかった。得られた小腸内膜は、熱処理し、Sphadex カラムで、ゲル濾過を行ない、五つの分画にまとめ、覚醒ラットを用いて、CCK 放出能を有する分画を探した。この生物活性を調べるラットのモデルは、私どもが、約五年余にわたり、行なってきた覚醒ラットを用いる方法であるが、CCK-RP は、豚由来

のトリプシンで容易に分解され、失活することが、わかっている。ゆえに通常の状態ではラットの膵液内にCCK-RPを含む分画を注入しても、すぐに失活して、効果が認められない。一方で、京大農学部グループが、ラットの膵液内に、CCK 放出を促す物質の存在することを報告しており、その物質の性格が、我々のCCK-RPに類似しているため、一部を提供してもらい、我々のラットのモデルで、生物活性を調べる方法を確立するために用いた。その結果膵液を二十四時間以上、十二指腸に戻さずにおき、胆汁のみ、小腸へ戻しておく、これらの物質が膵外分泌を刺激するということがわかった。また、血中のCCK値はRIA法は、種々の問題が残ることから、分離膵細胞を用いた bioassay 法により測定した。その結果、五つの分画のうち、二カ所に強、弱、おのの刺激作用をもつ部分をみ出したが、一つは、分子量がきわめて大きく、タンパクそのものにみられる一種の非特異性の作用と考えられた。もう一方の分画は、分子量が5000前後と考えられ、前述の膵液中の刺激因子と非常に近いものと思われるが、この分画にはトリプシン抑制作用はなく、膵液中のものはトリプシン抑制作用を有する同一のものではなさそうである。また、purification までには至らないが現在進行中である。

白血病性幹細胞に対するヒト遺伝子組  
み替え型コロニー形成刺激因子の作用

東京女子医科大学内科講師  
東女医学内支部 泉一登志子

急性白血病治療の隘路の一つとして化学療法後の重篤な感染症がある。白血病細胞の根絶を目的とした化学療法後に併発する正常造血の抑制に對してならぬかの方法で正常顆粒球を回復させることができれば感染を予防し治療成績を飛躍的に向上させることができると思われる。最近、顆粒球単コロニー形成刺激因子(GM-CSF)、顆粒球コロニー形成刺激因子(G-CSF)、インターロイキン3(IL-3)などのコロニー形成刺激因子(CSF)が分離、同定され近い将来この目的に利用されること期待されている。臨床応用に先立ちこれらの物質が正常顆粒球ばかりでなく白血病性幹細胞の増殖に對しどのような作用を有するのかわかりかしておくことが必要である。本研究は生体内での白血病細胞の増殖状態をよく反映すると考えられる白血球コロニー法を用いてこの点を明らかにすることを目的とした。

急性骨髄性白血病患者の末梢血あるいは骨髓血から分離した白血病細胞をウシ胎児血清、上記の各CSFと共にメチルセルロース中に培養した。対照群には従来白血病コロニー形成を促す物質として用いられてきた正常白血球培養上清(PHA-LCM)を用いた。培養七日目に二十コ以上よりなる細胞集塊をコロニーとしてその数を算定し、また再培養を行い再度形成されたコロニー数を算定することにより白血病細胞の自己再生能を測定した。さらにコロニー構成細胞の形態ならびに表面形質を検討した。また一部の試験では二種または三種のCSFを同時に添加しその作用を検討した。

結果ならびに考察  
二十七症例について検討を行なった。FAB分類による病型はM1一五例、M2一九例、M3一二例、M4一六例、M5一五例であった。GM-CSFは二十六例中十七例でコロニーを形成した。未分化型白血病であるM1ではコロニーはまったく形成されなかったが、骨髄球性白血病であるM4では多数のコロニーが形成されその程度はPHA-LCMに匹敵するほどであった。分化型白血病(M2)、前骨髄性白血病(M3)および単球性白血病(M5)ではコロニー形成度はM1とM4のほぼ中間でありGM-CSFの作用は白血病の病型により明らかに異なっていた。GM-CSFは二十七例中八例でコロニーを形成したが、コロニー数は全体として非常に少なく、コロニー形成刺激作用はごく弱いと思われた。IL-3は二十七例中十二例でコロニーを形成しその程度は中等度で、病型による差異は認められなかった。これら三種のCSFについて反応頻度および反応程度を比較すると全体としてGM-CSFはG-CSFに比べて有意に高く、IL-3は両者の中間に位置すると思われた。コロニー構成細胞の形態はいずれも芽球様でいずれのCSFも分化を誘導しなかった。以上の結果から白血病治療にこれらのCSFを応用する場合、G-CSFは病型にかかわらず比較的 safely に使用できるのではないかと考えられる。またGM-CSFは未分化型白血病(M1)についてのみ使用できるのではないかと考えられる。コロニー形成細胞の自己再生能はいずれのCSFを用いた場合でもPHA-LCMを用いた場合とほぼ同様であった。コロニー構成細胞の表面形質については用いたCSFによって差は認められず、自己再生能の結果と共にこれらのCSFがきわめて似た性質をもつ幹細胞を刺激したものと考えられる。CSFを二種または三種併用した場合の相互作用については九症例で検討した。IL-3をGM-CSFと共に添加した場合九例中四例ではIL-3、GM-CSFそれぞれ単独のコロニー数を合計した値

第35回  
日本女医学会定時総会のご案内 (第一回)

日時 平成2年5月26日(土)・27日(日)  
場所 仙台国際ホテル  
仙台市青葉区中央4丁目

総会 5月26日(土) 午後1時より  
講演 5月26日(土) 午後4時より  
演題 未定

講師 東北大学工学部教授(分子電子工学研究部門) 西沢潤一先生  
半導体研究の世界的権威者

懇親会 5月26日(土) 講演終了後  
観光

Aコース(日帰りコース) 5月27日(日)  
多賀城 東北歴史資料館  
松島瑞巖寺 奥松島嵯峨溪 仙台17時解散  
定員八十名 一五、〇〇〇円

Bコース(一泊コース) 5月27日(日)・28日(月)  
盛岡手づくり村 みちのくの小京都「角館」  
田沢湖高原温泉(泊) 八幡平周辺観光  
盛岡16時又は仙台19時解散  
定員四十名 費用四五、〇〇〇円

両コースとも申し込みが三十名に達しない時は中止いたします。  
\*なお、評議員会は、5月26日午前10時30分より、同ホテルにて行います。

日本女医学会第35回総会  
宮城県準備委員会 長池博子

第二十二回国際女医学会会議

一九八九年九月三日〜八日、韓国・ソウル市

学術講演内容の一部紹介

国際連絡書記 藤井 儔子

今回の会議の学術テーマは「各国女子の「がん罹患」であったが、各国からの報告内容は国の経済発展、教育の普及度などの差、つまり先進国と発展途上国の差を大きく反映するものであった。表1の如くインドは十六題の発表を行なっているが、私が聴くことの出来たセッションにおける発表内容は、子宮頸がんの早期発見にやっとな細胞診をとり入れたが、経済事情や農村労働力としての若い女子が病院へ来にくいこと、などいろいろの要因のため計画どおりに進んでいない……等の現状を国際女医学会にうたえているような印象をうけるものが多かった。未だに初潮前に婚姻の風習の残る農村の若い女子

の子宮出血、子宮頸部がんの多発を早くでうたえようというように講演した若い医師が印象的であった。今回二名の参加があったイランの発表は誰も読みとることの出来ない暗いスライドを指し示しながら口演時間延長の注意も意に介せぬものであり、東京における会議の際も、イランの発表のスライドの不鮮明さにスライド係りが苦労したのを思い出した。主催国韓国は十三題を八つのセッションで発表した。韓国においては原発性肝がんが多く、男子では胃がんについて二位あるいは近年は胃がん、肺がんにつぐもの、女子では胃がん、子宮頸がん、乳がんについて

四位である。比較的若い女医さんたちによる報告が多く、女子肝がんの診断、治療に関するもの、がん化学療法での感受性のスクリーニングの成果、乳がんの早期診断、組織学的特性、がん患者、特に白血病患者の精神状態の分析の新しい試みを含み多方面にわたるものであった。日本からの四題のうち、時間的に私が座長のところと重なった田中先生、黒田先生の膀胱がん治療の発表は山崎先生が聴いて下さった。他二題の一つは帝京大・医・衛生学教室のユニークな調査研究である「生まれ月による乳がん発生頻度」について井尾先生による発表で、自分たちの国でもそのような調査を行なえるのではないかと、後で数カ国の方が興味を示された。大阪・吉永先生は「成人T細胞白血病」の症例を示しながら最新の遺伝子診断を含む診断から治療経過までを紹介した。日本で発見され、原因となるウイルスの

表 1

Table with 3 columns: 地域 (Region), 国 (Country), 発表数 (Number of presentations). It lists data for various regions including North Europe, Central Europe, North America, Central Asia, Middle East and Africa, and South America.

注 1) 会員数は1989年3月までの会費納入者数 2) 会員数の( )は3〜5年間会費未納 3) 参加者数は会期前登録者数 4) 日本の( )内の数は実際の出席者(これに相当する各国の人数は不明) 5) 参加者欄の?は参加者名簿にはないが、数名出席していた国 6) 演題の( )内は左の数のうちのキャンセル数

年グアテマラで三月に開催される。会長は韓国の朱博士である。グアテマラは約九百名の女医がいるが国際女医会員は二十四名(表1)である。どのような会議となるのか誰かが不安と期待を持っているようである。今回の会議は事前登録者数が表1のように少なかつたこと、演題の集まりも遅かつたこと、主催者は大

変気をもまれたようであったが、最終的には八百名を越え、細かく気をくばられた韓国会員の方々のご努力で成功裡に終わった。しかし、会の中心となる演題のキャンセルが今会議の会長の国イタリアであった(表1)のは、よくいわれるお国柄かもしれないが、残念なことであった。

第二十二回M W I A会議から帰って

会長 山崎 倫子

九月三日から八日まで、韓国ソウルにおいて女性の「がん」をテーマに第二十二回M W I A会議が開催された。組織委員会によると三十五カ国から計八百六十二人(うち韓国五百七十九、日本六十六)の登録があった。日本からの参加者は韓国女医学会の期待に応えたもので大変喜ばれた。到着するや既に会長、連絡書記の会合が始まっており、引きつぎ学術セッションのCo-moderator(司会とリポーター)の打合せが行なわれ、てんでこ舞のときであった。

開会式は、参加三十五カ国の国旗パレードによって始まり、Dr. Joo組織委員長により開会が宣言された。国際会長、保健大臣などの挨拶のあと、国務担当政務次官金女史による「国の発展における女性の役割」とW H O韓国代表Dr. J.F. Bertainxによる「女性がんにおける特殊性」と題する特別講演が行われた。その夜はLittle Angels 芸能シアターで、フルコース・ディナー、リトル・エンジェルスの可愛らしい伝統パレードなどなど素晴らしいパフォーマンスを満喫した。



民俗村訪問の日、昼食後の一時、「さくらさくら」などを唱って日本を紹介した。

十九時から始まったウェルカムレセプションは、色とりどりの鮮やかな民族衣装にドレスアップした五百名にも及ぶ韓国女医に圧倒され外国人はかすんでみえる程であった。料理は十分、旧交をあたため、また新しい友人との出逢いを楽しむ姿が諸所に見られた。会場の中央に飾られた舞台の上の祭壇に、音楽にあわせ、線香を立て三回ひざまづき拝礼する、会議の成功を祈る伝統的行事が行なわれた。興味津々ということか、次々に外国人、わがヤングフォラムの二名もおそかに祈りに参加した。

学術面では三日間にわたって、約七十の演題が提出された他、臓器移植、退職女医、医学教育と伝達技術の三つのWork Shopと現代医学についてのパネルが行なわれた。会場も分れ、時間の重復もあり、分担して聴講した。日本からは四つの演題がだされ、いずれも参加者の関心を集めた。国際総会の評議員に委嘱された諸先生は暑いさ中の観光をほしよって駆けつけて下さり、議事の内容は大きくお役を果して頂き有難かつた。

分離も日本で行なわれた血液がんであるが、残念なことに質疑の時間がなくなりました。比較的新しく各国で今後発展する領域としてホスピスがあるが、二題の発表があった。自分で十五床ほどの病院を持つ英国の先生と、大病院の一つの建物をホスピスとしたオーストラリアの元会長ロイド・グリーン先生による発表である。具体的問題点などの話は紹介にとどまったのは、残念であった。ブラジルのストルツ先生が、がん患者のみを集めるか、他の患者と交流のある病院とするか、自分は後者がよいと考えるとコメントされたがわれわれも考えるべき点である。

毎回の国際会議では学術講演内容から抽出される問題点を座長がまとめて最後の総会に決議事項として提案し、採択されると各国に持ち帰り、時には政府にも働きかけることになっていたが、先進国と発展途上国間の視点の相違などが従来問題となっていた。今回から決議事項としてではなく、考えるべき問題として提案され、帰国後各国で討議して、その意見を本部へ送ることになった。その後役員会でとり上げられれば次期国際会議で改めて決議するとの方針に変わった。この方式に対して、場合によっては時期を逸してしまう重要議題もありうるとして、各国の意見の一致をみるに到らないまま会議が終了した。

第22回国際女医学会会議は一九九二

次期会長は英国の Dr. Ward、次々期開催地はオランダのハーグに決定した。にもかかわらず次期グアテマラ会議でのグアテマラは未定である。日本女医学会からの寄付によってケルン国際本部事務所が整備されたことを感謝する旨の報告が総会で行なわれ、また持参した禁煙ポスターも披露された。

民俗村への小旅行は古き韓国の伝統と生活を知る上にも、また親睦と交流の上からも意義ある半日であった。最後のバンケットも盛沢山なアトラクションでファイナルを飾った。参加した外国人は誰もが素晴らしい会であったと口々に感激と満足の意を表しグアテマラでの再会を約束し別れを惜しんだ。

MWIA会議はいわゆる学術会議ではなく、むしろ各国における現代医学の動向とテーマに掲げる問題を中心に女医の相互理解と親睦を通して人類の健康に寄与することを目的としている。開催国の実情を見聞する機会でもあり、参加することに意義を見出し、今後多くの会員が参加することを期待すること切である。現実には世代交替も見られかつての参加者も少なくなってきた。

最後に、韓国女医学会、国際会議組織委員会のご苦勞が見事に実を結び第二十一回MWIA会議を成功裡に終えられたことを心からお祝い申し上げます。

学術セッションにおける講演を聞いて

会長 山崎倫子

学術講演は二カ所同時進行で行なわれたので、藤井先生と分担して聞くこととした。私の聞いた中で印象的であったものについて、次に報告する。

DESの薬害——オランダから妊娠時においてDESを服用した母親から生まれた男女における障害、特に若い娘たちの五年間にわたる追跡調査の結果が報告された。生殖器に発生するさまざまな障害、生殖器の奇形、不妊、外妊娠、流産の増加、早期破水、陣痛微弱等の報告を引用し、演者自身の経験をふまえ、DESの使用注意にとどまらず製造中止を勧告すべきである旨の講演があった。(エストロジェン製剤)

女性のストレス対応と乳がんの発生——乳がんの罹患率は工業国に極めて多く、特にストレスとの関係が深い。西暦二〇〇〇年には倍増するであろうと予測する人もある。ストレス対応型にはA、B、C、Eタイプがあり、たとえば、挑戦的、短気、野心的なAタイプでは潰瘍、心臓病、高血圧、心臓発作をおこす傾向があり、Bタイプはうまくストレスをコントロールでき、Cタイプではもの静かで感情、特に怒りに対して感情を抑制し表情に現わさない、社会的欲求に対しても従順かつ適合性を見せかける。自虐的要素をもち、また性的抑制をする。家庭における不合理的な犠牲を受けたり受ける対象や大切な感情交流を失うなどの場合、がん特に乳がん発生に関係が深い。職業も家庭も完全にしなければと行動するEタイプ、すべてに對した誰に對しても何でも対応しようとする、こんなタイプでは、胃潰瘍、高血圧、心臓病、燃えつき症候群、無感情やデプレッションになり易い。など、ストレス行動と疾病の関係を説明。近年の社会、歴史的变化は女性にさまざまな問題をもたらしている。女性はどうやって人間としての役割を維持してゆか、男女の役割と態度、地位等いろいろ。女性解放は乳がん発生の増加傾向を示しているようだ。肉体に及ぼす精神力が低く評価されている。女医はもっと女性が感情をオープンに現わし、自尊心を持ち、自分を大切にしよう教育とリラックサス法を教えるべきである。

ストレスはいかなる疾患にも関係があり、ストレス過剰、ストレス不足が病気を起こすことは誰もが知るところである。一方、喜びや良いストレスは健康を高め、希望、愛、笑いが疾病の苦しみを軽減することは多くの事例が示している。ストレスをいかに上手に発散するかは、がん特に乳がんに関係が深いという。がん、特に乳がんにおける、運動、ゲーム、スポーツによるリハビリテーションについて——西ドイツでは十六万人に乳がんの手術を行って、その数は毎年二万例ずつ増加の傾向にある。手術やレントゲン治療により生じる痕跡は、肩関節や上腕の運動を著しく障害し、医学的、精神的な面よりもむしろ心理的、社会的苦悩が大で生きる意味を失ったり不安にたえないものである。乳がんにおかされた女性のために一九八一年スポーツ協会が設立され、以来運動、ゲーム、スポーツによるリハビリが実施されている。健康維持、フィットネスを求め、楽しく生きることを学び、今や専門家指導によるジムが全国に百以上もできた。がん、特に乳がんのためのスポーツ、リハビリの重要性が報告された。

幾つかの講演をご紹介したが、韓国女医学会より聞いた韓国事情について少し述べてみたい。医師の数は三万人、うち15%が女医で、13%が現に働いている。かつて五つの医科大学が現在三十一、年間三千人の医師が誕生、人口四千二〇〇万、医師一人当りの人口は約一四〇〇人(日本六三六六)政府は未だ不足というが実際には多すぎて生活困難者も多い。専門医希望が多く、極力レジデントの数を抑え開業医を増やすようにしている。医師会も医師過剰を抑えるよう政府にプレッシャーをかけている。今年七月から国民医療保険制度を導入したが、病気をしないのになぜ保険料を払わなければならないのか理解がむずかしく制度はできて未納者が多く前途多難という。ソウル国立大学は二〇〇床を有するが、五〇〇床以上の病院では、直接外来患者は受診できない。開業医からの紹介が必要である。老人専門病院はない。老人ホーム見学を希望したが応じられなかった。老人問題も深刻化しつつあるという。儒教精神のつとめ、長老を敬い大家族主義を堅持していると信じていた韓国も、近代化への転換に伴い大家族が著しく増加、特に田舎では長男に嫁はこない、輸入しなきゃ(冗談かどうか他の二、三人からも聞いた)、老親を介護するのは長男の嫁の責任である。男女差別はなおきびしいことである。情報は一瞬にして世界を駆け巡り良きにつけ悪きにつけ世界は変わってゆくことを知らされた。

ヤング・フォーラムに参加して

豊島支部 井尾裕子

ヤングフォーラムとは、国際会議中に特に各国の四十歳以下の女医が集まり、若い医師の立場から国際交流や各国の医療問題などにつき自由に討論し、親睦を深める場です。今回が、女医会行事に参加するのは初めてで、軽い気持ちで参加するのは初めと軽い気持ちで参加するのは初めと軽い気持ちで参加するのは初めと軽い気持ちで参加するのは初めと...

会議は、国際色豊かな民族衣装の方々が集う>Welcome Receptionに始まり、韓国の若い女医の皆さんと名刺交換などして語り合おううちに、少し気持ちが落ち着きました。九月四日一回目のヤングフォーラムに参加。韓国の議長は三十九歳で解剖学教授でもあるKyung-Ah PARK先生の進行により、自己紹介やいろいろな話題について自由に話し合いました。約二十数人の会ですが、年は三十五歳前後で、ほとんどが子育ての最中ということもあり、女医として働く女の考え、各国の医療現状など情報交換することが出来ました。副議長のオーストラリアの先生は六カ月の女児を連れての参加で、会議の最中に交代で抱いたりし、非常に和やかな雰囲気でした。この他に、

も一つ是非お話ししておきたいのは、今回国際会議に参加された御多数の日本の女医の先輩方と、貴重なお話しをする機会を持てたことです。今、子育て、仕事、勉強と夢中の私にとって先輩方の体験談、助言が大きな励みになりました。女医会に加入するメリットがないなどという方の御意見を時々聴きますが、今回、実際に参加してみても大きな間違いだと気がつきませんでした。参加してこそ体験しえる感動と、友人を得る

ヤング・フォーラムに参加して

東邦大学大森病院内科研修生 都下東支部 牧野真理子

ヤングフォーラムは、四十歳以下を対象とするコミュニケーションの場で、参加国は約十五くらいであった。チェアマンはオーストラリア人で、六カ月のベビーと夫を連れての参加であり、ベビーに授乳しながらの議事進行はなかなか頼もしく今風という感じであった。多くの行事があったが、その中で印象的であったのは、韓国人の女医宅へのショートステイである。

私とチェアマンのオーストラリア人とオランダ人の三人が一組となり訪問した。ワインで乾杯のあと自己紹介し、その後女医として妻として母として生活していく困難等を語りあった。オーストラリア、オランダは、しっかりパートタイム制が確立しており、ベビーシッター、ボランティヤも多く、日本人の私としては羨しい限りであった。韓国では第一線の臨床医として出産後も仕事を続けるのは困難のようで、産後は基礎医学に転身する女医が多いとの話

同時に、今後も今の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思えます。追伸・ヤングフォーラムに興味をもって下さった方、是非、連絡してください。

成人T細胞白血病

大阪赤十字病院皮膚科 奈良支部 吉永花子

Adult T-cell Leukemia (ATL) は一九七〇年頃より、日本で初めて末梢血に花弁状の核を有する異型リンパ球が増加し、皮膚に浸潤することの多いリンパ腫として報告され、

第二十一回国際女医学会発表論文要旨

国際女医学会に参加することは、その時代に生きていく人間の地球レベルの交流であると深く感じ、同じくヤングフォーラムに参加された井尾先生と次回のグアテマラ参加を決心した次第である。

○nmのドーナツ状を呈すウイルス様粒子の集塊が認められた。このウイルス様粒子をHTLV-Iと断定するにはさらに抗原抗体反応などの組織化学的検索が必要であるが、腫瘍細胞の多くに検出されたことより本例の発症にこのウイルス粒子が関与している可能性が強いと考えられ、さらに検索中である。

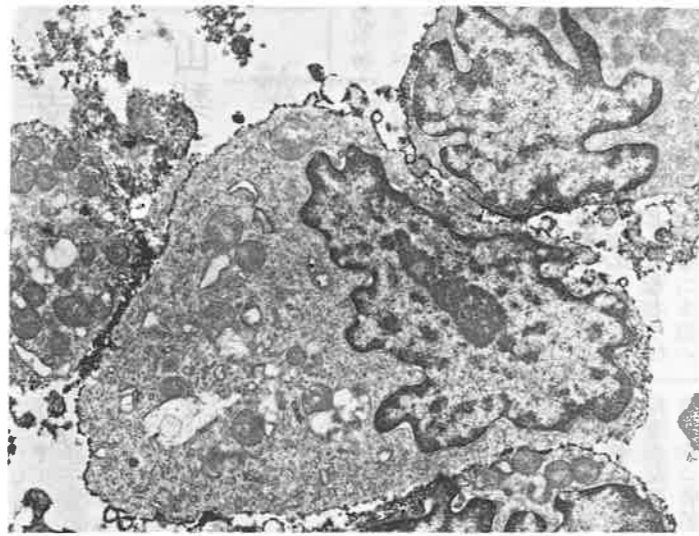


図3



図5

### 乳癌および卵巣癌患者における出生季節分布

帝京大学医学部産婦人科大学院生  
豊島支部 井尾裕子

乳癌患者の出生季節分布が対照と偏っていることはよく知られ、日本の乳癌患者についても報告がある。本研究では、子宮癌、卵巣癌などの婦人科の癌患者の出生季節分布について比較調査を行なった。

【資料】一九六三—一九八三年に東京のある二つの病院に入院した

乳癌患者八百二十三人と、一九七二—一九八九年に帝京大学病院に入院した卵巣癌、子宮癌患者三百七十三人のカルテを調査した。患者の出生季節分布は、人口動態統計のこの年代の東京都の女子の出生数分布から各月別の期待値を求め、それに対する期待値の比で示した。検定は、 $\chi^2$

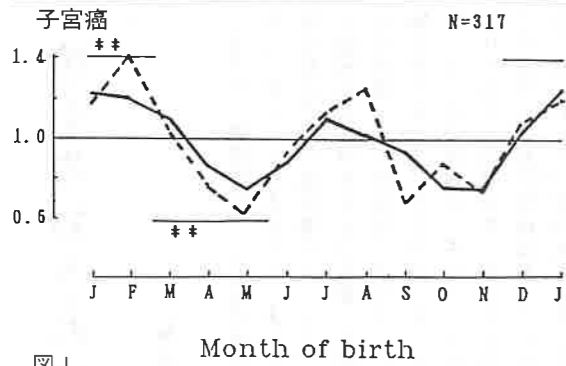


図1

検定を用いた。【結果】図の点線は月別の分布を示し、実線は、三カ月の移動平均値を示した。

子宮癌患者の出生季節分布は、六月から八月と、十一月から二月の二つのピークを認めた(図1)。乳癌患者の出生季節分布は五月から七月にピークを認めた(図2、上段)。卵巣癌患者の出生季節分布は、五月から七月にピークを認めた(図2、下段)。卵巣癌患者の出生季節分布は、子宮癌患者のそれとは異なり、乳癌患者と類似性があった。【考察】乳癌の発症はアジアには低く、アメリカや西欧諸国に多いという報告がある。また、乳癌は未婚の女性に多いといわれ、これらの傾向は卵巣癌でも報告されている。乳癌と卵巣癌は、その発症に内分泌学的要因が一つと考えられている。この二つの癌の発症は、患者の出生

### 第12回学術講演研修会のお知らせ

日時 平成元年11月25日(土) 午後3時30分  
場所 京王プラザホテル(東京都新宿) 南館3階グレースルーム  
講演者 本明 寛先生  
日本心理学会 理事長  
演題 創造する心  
(前早稲田大学心理学教授)  
懇親会 会費五、〇〇〇円  
\*詳細は後日ご案内いたします。

学術部



図1

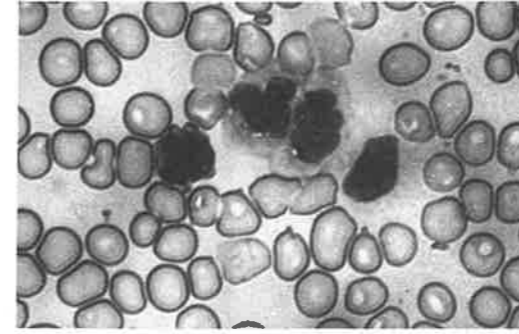


図2

V-I)が発見され、その後京大日沼教授らによりATLV-Iウイルス(ATLV)が分離され、さらに癌研究所、吉田らの研究によりHTLV-IとATLVが同一のウイルスであることが明らかとなった。そして日本他にカリブ海沿岸の地域やニュージーニア、およびハワイ在住の日本人に多いことがわかっていく。ATLVの感染は生きたリンパ球がウイルスを運ぶため、授乳を通して母から子への感染が大半を占めている。キャリアの母親は授乳を停止、または母乳は凍結後解凍して与えること

で感染予防をしている場合もある。今のところ日本に多い疾患であるが、国際化が進みつつある現在、今後は世界的に広まる可能性も考えられる。ATLVについてこれまで知られていることは表1のとおりである。ATLVは典型例にみられる急性型の他にリンパ腫型、慢性型、くすぶり型、HTLV-Iキャリアなどの病型に分類される。キャリアにおいてはHTLV-I抗体のみが陽性であるが何らかの誘因により発症した場合、左列に示した症状が次々に出現し、急性型においては効果的な治療もなく六カ月くらいの経過で死に至ることが多い。演者は最近経験した十五例の中からHTLV-I抗体強陽性のキャリアから急性転化までの五年間の経過中に各病型を観察したATLVの定例型について報告した。患者は急性転化時に図1のような中

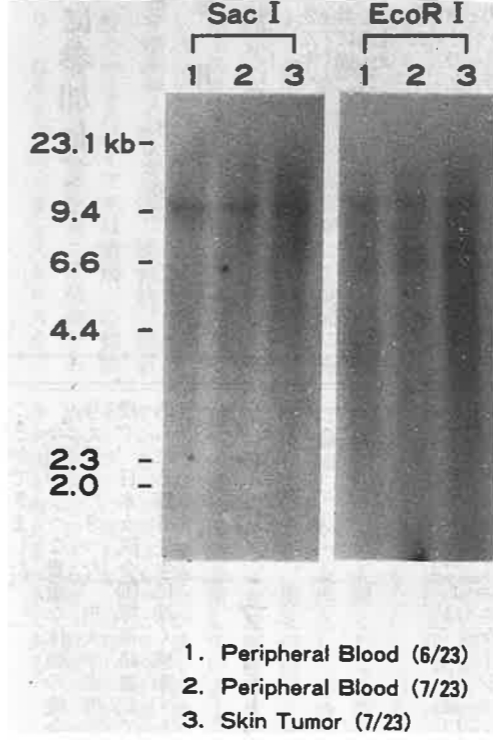


図4

毒疹様皮疹を生じ、その後次々に種々な皮膚病変を生じたがすべてにATLVの浸潤が認められた。末梢血の異型リンパ球は50%であり、ほとんどがメイギムザ染色にて図2のような花弁状の核を有する中型から大型の細胞であった。これらの細胞表面マーカーはCD4+であった。図3は皮膚腫瘍の電顕酵素抗体法を行ったものであるが、ATLV-cellの細胞表面が標識抗体CD4により顆粒状に染色されている。末梢血および皮膚腫瘍のproviral DNAの検索では図4の様にSac I-EcoR I hybridizationのbandが認められ、これはHTLV-I型ゲノムが一細胞内一カ所組み込まれた細胞のモノクローナルな増殖であることを示すものである。さらにこの症例では図5のように腫瘍細胞内に多数の直径約七

表1 Diversity of clinical ATL features

	Acute type	Lymphoma type	Chronic type	Smoldering type	Intermediate type	HTLV-I carrier
Lymphocytosis	+++	-	+++	-/+	-	-
Petal-like cell	+++	-/+	+ / +++	+	- / +	-
Lymph node enlargement	- / +++	+++	- / +	-	-	-
Hepatosplenomegaly	++	- / +	- / +	-	-	-
Skin lesions	- / +++	- / +	- / +	- / +++	-	-
Hypercalcemia	- / +++	- / +	-	-	-	-
High LDH value	++	- / +	-	-	-	-
CD4/CD8	↑↑	↑	↑↑	↑	N	N
CD25 (IL-2R)	↑↑	↑	↑↑	↑	N~↑	N
Amount of CD3 antigen	↓↓	↓	↓↓	↓	N~↓	N
Anti HTLV-I antibody	+	+	+	+	+	+
Provirus	Monoclonal	Monoclonal	Monoclonal	Monoclonal	Polyclonal	N.D.

IL-2R: Interleukin 2 receptor, N: Normal, N.D.: Not detectable

支部だより

山梨支部だより

山梨支部 小林 梅子

昨年発行の日本女医会員名簿を見ますと四十六名がのっています...

現会員中、よく会に出席なさる方は半数くらいでしょうか...

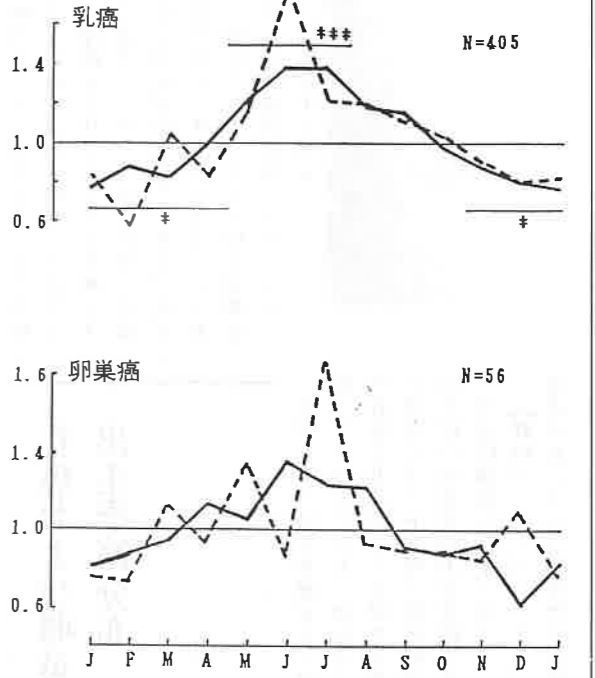


図2 Month of birth

月でも共通性があることが今回の研究で分かった。このことから、五月から七月に出生した女性は、pre-or perinatal stage にある seasonal factor により影響を受けたと考えられる。

癌を告知されて(子宮頸癌Ⅱ期)

神奈川支部 杉浦 愛子

まさか、癌細胞が、この私の体の中に、巣くっているなんて。まるで身に覚えのない他所事のようなです。主治医の真木健先生とは先輩の女医先生を通じての初対面でありました。

私の大学

関西医科大学小児科学教室 大阪第一支部 岩瀬 帥子

関西医科大学は昭和三年六月、当時西日本における唯一の女子の医学教育機関として創立された大阪女子高等医学専門学校から出発した大学で、戦後の学制改革により大阪女子医科大学に昇格。昭和二十九年十二月に関西医科大学と校名を改称し、昭和三十年四月から男女共学制が発足。

教養部は枚方市牧野にあり、学歌「のぞみ」上代人の御侍りせし地ぞなつかしわが交野の原 日毎仰ぎ見る生駒嶺のごと 雄々しく生きん 医の道に...に歌われているように、古代のロマンをのこす緑深い環境の中で学生たちは一年八カ月のびやかに勉学に励んでおります。

関西医科大学は昭和三年六月、当時西日本における唯一の女子の医学教育機関として創立された大阪女子高等医学専門学校から出発した大学で、戦後の学制改革により大阪女子医科大学に昇格。昭和二十九年十二月に関西医科大学と校名を改称し、昭和三十年四月から男女共学制が発足。

教養部は枚方市牧野にあり、学歌「のぞみ」上代人の御侍りせし地ぞなつかしわが交野の原 日毎仰ぎ見る生駒嶺のごと 雄々しく生きん 医の道に...に歌われているように、古代のロマンをのこす緑深い環境の中で学生たちは一年八カ月のびやかに勉学に励んでおります。

京都府八幡市に附属男山病院、京都市西京区には附属洛西ニュータウン病院があり、それぞれの病院で特色ある診療が行われていますが、同時に学生の臨床実習の場としても貴重な存在になっています。

そのお話を伺っている時、私も二人の子供を残しては、たとえ手遅れの癌でも死ぬわけにはいかないと、五日後にひかえた大手術の前の、壮絶な心境でした。敬虔なクリスチャンでもあられる先生のお話は、私の心底をゆさぶり、涙は取り乱す寸前にまで溢れました。

今振り返って私の身に余る幸運は最高の医師に巡り遭い、的確な診断を受け、信頼ををし、命を預けることが出来たことです。術後の病理検査の結果と、臨床的診断とは、全く合致したものでした。



湯島健康倶楽部発足一年を顧みて

文京支部 金井美津

成人病患者さんの診療に追われる毎日、「もっと食事の注意をすべきだった。もっと親身になって愚痴を聞いて上げれば良かった」と、悩み反省する事がしばしばあります。ところが哀しいかな、私一人の力ではとてもこの悩みは解決されません。もちろん、時間にも制約があります。同じ悩みを抱えている同級生の千葉智世さんと意気投合して思いついたのが、この「湯島健康倶楽部」であります。やるならば糖尿病の専門家には同級生の高宮将子さんを、栄養や食事の事は同じ同級生の香川芳子さんを、栄養士さんは女子栄養大学からお願いしようとする人事構成はこんな具合に、バタバタと決まりました。その上、私の畏友、医事評論家の西来武治先生、同じく大矢仁美先生もこの主旨にご賛同下さり、「こころ」担当の世話人を引き受けて下さいました。さらに、薬についての正しい認識を広めたいからと、薬剤師さん方、家庭で出来る看護のコツを担当しようとする、千葉さんの教え子の看護婦さん方、あんなこんなで結構な大所帯となりました。

理事会議事録

私たちは今後とも病人を薬で治すだけではなく、食事・栄養さらに心の面からも広く健康の手助けが出来

日時 平成元年6月24日
場所 日本女医学会 会議室
出席者(敬称略)
山崎、大原、小俣、石原、久保田、佐野、二村、野沢、野本、橋川、橋本、藤井、丸山、三好、青井、明石、荒木、石川、石津、小暮、関口、中濱、野呂、八木、添田、西山
欠席者(敬称略)
佐藤、白橋、稲生、尾中、小出、柴田、白浜、南雲、平瀬、福永、森田、山口
庶務報告
三好常任理事
4月15日・理事会開催
4月17日・日本女医学会誌一一八号および国際女医学会
4月20日・年金掛金自動振替取扱銀行として東海銀行と契約
4月29日・日本女医学会大阪支部連合の集いに山崎會長出席
5月8日・会務報告、会費請求、ルーベンダンパンフレット、年金パンフレット発送
5月20日・緊急理事会開催

る医師でありたいと願いつつ、人と友と友との「和と輪」を造ってゆけるよう念願しております。

第34回定時評議員会
日時 平成元年5月8日
場所 テルニエツカモト
出席者(敬称略)
6月5日・年金掛金自動振替取扱銀行として青森銀行と契約
6月9日・WHO国際シンポジウムに野沢常任理事、森田理事出席
6月17日・埼玉支部総会へ山崎會長、石原常任理事、白浜理事、関口理事出席
その他
(1)名譽会員大村ひさる先生は平成元年5月8日死去された
(2)故今 鷲子先生ご遺族より一〇〇万円の寄付あり
(3)厚生省へ一九八九年版公益法人要覧作成資料提出
(4)故松盛まゆみ先生ご遺族より供養の品あり
(5)故岡本宇先生ご遺族より香典の礼状あり
連絡事項
(1)労働省婦人局より第4回男女雇用機会均等月間の実施に対する協力依頼について
(2)レベラアップ あなたの職場の均等度

期間 平成元年6月1日〜30日
(2)財団法人市川房枝記念会より第7回「市川房枝基金」応募について
援助課題
女性の地位向上、政治の浄化、国際協力などのための個人および研究調査、活動で社会に役立つものであること
援助金額
総額(一〇〇万円、年一回)

主題
性的役割を変える
― 地球的視点から ―
主催
国際婦人教育会館
会場
〃
期日
平成元年11月23日〜26日
(4)エイボン女性文化センターより一九八九年エイボン女性年度賞候補者推薦依頼について
対象
日本国籍の女性、年齢は問わない
締切
一九八九年6月7日
会計報告
二村常任理事
四月・五月分別紙どおり報告。承認
各部報告
(渉外部)
野沢常任理事
・WHO国際シンポジウムおよび市川房枝記念会・出版記念のつどい

に出席。国際婦人年連絡会の記録「連帯と行動」を購入。

〈広報部〉 丸山常任理事
日本女医学会誌一一九号の企画および編集経過報告。

〈事業部〉 石原常任理事
埼玉支部出席の際、年金の加入を依頼。
松本文絵先生(京都支部)の公衆衛生に關しての講演会を予定している。

〈学術部〉 橋本常任理事
7月15日(土)開催の第三回ワークショップ出席予定者(6月24日現在)八十七名。
司会野呂先生に依頼。
〈国際女医学会〉 藤井国際連絡書記
第21回国際女医学会会議について
阪急交通社から三十三名、JT Bから十九名出席予定。(6月24日現在)

・エリトリア地域への医療援助に対し国際女医学会本部より礼状あり。
議事
役員選挙方法について
総会における「役員選挙方法を在宅投票にしたら如何」との発言について検討、在宅投票を含め選挙方法について出席理事全員の意見を聴取、次回の常任理事会で検討することに決定。

二、平成二年総会について
日時 平成2年5月26日(土)
場所 宮城県仙台市
日程
評議員会 午前10時30分〜12時

総会 午後1時〜4時
講演会 午後4時〜5時
懇親会 午後5時30分〜7時30分

評議員と理事の懇談会 懇親会終了後、會長招待の形で行なうことに決定。
観光 日帰りおよび一泊コースの日程については支部に一任。
三、シンクタンクについて
日本女医学会は技術、頭脳集団であるので、当会に対し講演依頼のあった際に人材バンクとして迅速に対応できるように演者のリストを作成、また関係団体への周知など今後検討事項として継続審議とする。
四、日本女医史について
委員会にて検討。

五、その他
(1)僻地診療助成について
東京女子医科大学無医地区研究会より助成金申請の依頼があったが検討の結果今年度については見送ることに決定。
(2)理事会の議題提出とその討議について
理事会で討議された事項については正確に議事録を作成する。常任理事会にて討議された事項については理事会に報告、協議を行なう。

・年金の問題に關しては年金委員会、事業部で決定することを承認。
(3)日中医学協会への平成元年維持費十万円納入について
十万円支払うことに決定。
(4)市川房枝記念会維持費一万円納入について
一万円支払うことに決定。
(5)風土社より社会保険新報別冊についての依頼
風土社の依頼により日本女医学会監修「女医の診察室から「健康生活の知恵袋」(仮称)発行については事業部が担当する。
(6)ファクシミリ機器購入について
庶務部、会計部に一任。
(7)第21回国際女医学会会議について
日本の国際女医学会会議における投票権は二十名。後日選出。
ヤング・フォーラム出席の牧野真理子会員(都下東支部)へ十万円を補助。
・出発前に出席者の会合を開くことを検討する。

常任理事会議事録
日時 平成元年7月22日
場所 日本女医学会 会議室
出席者(敬称略)
庶務部 三好、荒木、八木 以上

7月18日・国際婦人年連絡会主催の国際婦人開発基金アジア太平洋イレーネ・M・サンチャゴ氏との懇談会に佐野常任理事出席
7月19日・厚生省へ昭和63年度会務報告および事業報告、会計監査報告、総会議事録、平成元年度事業計画案提出
その他
(1)近岡理一郎氏より厚生政務次官就任の挨拶あり

(1)日本女子社会教育会より婦人教育研究会について
テーマ これからの女性の生涯学習
期間 平成元年9月7日〜8日
参加費 五、〇〇〇円
締切 8月15日
各部報告
(渉外部)
佐野常任理事
7月18日、国際婦人年連絡会主催の国際婦人開発基金アジア太平洋イレーネ・M・サンチャゴ氏との懇談会に出席。
7月21日、国連NGO国内委員会に出席。
〈事業部〉 石原常任理事
公開講演会開催について
日時 平成元年10月28日(土)午後3時
場所 大阪府医師会館
演題 考えてほしい「性と生」
演者 松本文絵(京都支部)
日本女医学会監修「女医の診察室から(健康生活の知恵袋)」発行に關して、役員にアンケートを依頼。
〈学術部〉 橋本常任理事
7月15日、第3回ワークショップ開催の報告。(九十三名出席)
〈広報部〉 久保田常任理事
会誌掲載の原稿締切期日厳守の依頼。
議事
役員選挙方法について
先月の理事会に引き続き検討、メリットおよびデメリットについて

9月の理事会までに各自の意見を提出。

二、シンクタンクについて(人材バンク) 当会に対し講演依頼のあった際に、すぐ対応できる演者を会員の中より自薦および他薦によるリストを作成。

三、その他

(1)公開講演会および10月28日の常任理事会開催について

公開講演会開催前午後1時30分より大阪府医師会館において常任理事会を開催。

※ただし常任理事会後、公開講演会は、10月21日に訂正された。

(2)年金パンフレット印刷について

(株)北斗社へ印刷費の値引を依頼。

(3)新卒入会者への記念品について 当会のネーム入り大判ハンカチーフの見積を依頼。(2色)

(4)社団法人日本WHO協会より入会のお誘いについて

9月理事会で検討。年間事業、機関紙等の資料を取り寄せる。

以上

副会長(庶務担当) 佐藤 庶務部 白橋、三好

会員動静

予備評議員(敬称略)

葛飾支部 長沼 薫

千代田支部 井上柳子

都下西支部 砂入裕子

入会会員(敬称略)

北海道支部 金 順奉 近藤文字

福田ヨキ 中塚尚子

佐々木道子

中嶋ノブ子

宮城支部 齊藤淑子 長谷川桂子

鈴木孝子 渡辺てる子

福島支部 馬場恭子

埼玉支部 木村幸子 辻 富美

森田玲子

板橋支部 伊本英子 早川澄子

森 弥生

杉並支部 大沢真木子

都下東支部 杉浦ゆり 玉熊和子

長谷川正子

神奈川支部 高橋佳代子

愛知支部 浦田喜子 大橋照美

小川禮子 小沢きみゑ

片野昌子 加藤敏子

加藤みゆき 白井郁子

鈴木美枝子 高須梅代

竹内和子 坪井香容子

中垣ひで子 長坂和子

長谷川静代 藤田静代

小林明子 瀧田恭代

矢地通子 山岸敏子

山田好枝

大阪10支部 橋本美知子

野崎京子 森 佳子

京都支部 大西用子 松本文絵

兵庫支部 伊東恵子

佐賀支部 松下いく子

新卒入会会員(敬称略)

東女医大学内支部 神崎雅子

薬師寺道代

北海道支部 磯田シゲ子

中野支部 大村ひさゑ

都下西支部 松盛まゆみ

愛知支部 松本真理

岐阜支部 大前 鎮

大阪7支部 前田公子

編集後記とお願いと

本号は国際女医学会が韓国で開催され、ご出席の会長、連絡書記をはじめ口演された方々から原稿をいただいた。「帰国後間もなくメ切である」という無理を承知で原稿を依頼したのであったがおききとどけ下さって期日に原稿をいただくことができました。原稿を依頼しても相当の時間がメ切までにあつた場合でも「ちよつとまって」の声がかかることが多いのであるが、さすが熱意あふれる本会のお歴々のこととて、編集委員会は感服した。

前もってお願いしてある巻頭言等とともに会員に大いによるこんでいただけると察し、読みごたえあるニュースをお届けすることは委員会としてありがたいことである。

さてたびたびの委員会の後、割りつけをしてみたらいつも号より頁数も多くなり、嬉しい悲鳴というわけであるが、編集後記を書く当番の久保田が余白をいたたくこととした。

改めて原稿依頼の時間的余裕をもたないので去る九月三十日の理事会で後述のことを記すことのご了解を得たのでここに書くことにした。

それは平成元年五月千葉支部主催の日本女医学会が盛大に立派に開催さ

兵庫支部 植村鎮子 田所 梨

香川支部 小早川ノブエ

高知支部 天野靖子

熊本支部 岡本宇免

れたのはご存じのとおりである。総会自体の本論に入るに先立ち、突然の発言があつた。大正生れの私は、声の方を振り向いた。理路整然としているし、いい声だと思つた。さて、そのいわんとするは「日本女医学会の役員選挙を在宅投票とすることが望ましいと思われるので、この問題を会として取りあげてほしい」というのである。加えて賛成の意志表示をされた方がお二人。まだ忙しく仕事をされている方々である。私は年の故で堂々と発言する方の落付いた声をきき、勇気のあるのに感心した。

発言の時いつでも興奮してあわてふためく我とわが身が切に意気地なく思われ、習うべきと思わせられた。

急の発言に驚く様子もみうけられず、発言を遮ることもなく応答される会長に敬意を表した。本当に突嗟のことであつた。

約束どおり、会長はこの件を取りあげ、討議を重ねておられる。つきまして、多くの会員は在宅投票にかかわらず、役員選挙をどう思っておられるか。現在のままで何が悪いのかと思われる方もおありと察する。

また在宅投票が望ましいとの発言者は、忙しい最中の年齢の会員も、遠方選挙総会に出席できない人も、医者である我々は患者の都合で予定

の変更をやむなくされて出席不可能になることもある。また若い会員のみでなく、この会は年齢の高い方もおられるのであるから、在宅投票でならば全会員が意中の人を投票し得る。即ち総意という理想を表現し得る最上の方法であると、この方法に賛辞をおくつていた。

しかし、人間は人さまさまの考えをもつて生きている。日本女医会員においても然りであろうかと思われる。どうか、在宅投票が賛成であるか否か、現在の方法で結構であるかと思いか、両者ともよろしくないと

思うので私の方法のこんなのはどうか……等々、いろいろのご意見を日本女医学会に賛否の理由もそえておきかせいただきたいものである。ご多用の会員におかれてはご面倒のこととよく存じているが、日本女医学会にとつて最も良い役員選挙の方法を決定するためにご意見をおよせいただくようお願いいたす次第である。なお責任あるご意見をいただけるならば、記名、無記名を問わない。

(久保田くら)

平成元年10月20日 印刷

平成元年10月25日 発行

編集人 久保田くら

発行人 日本女医学会

発行所 東京都渋谷区渋谷2-1-817 青山宮野ビル

社団法人 日本女医学会

TEL (498) 〇五七

TEL (498) 〇五七

制作 東京都文京区水道1-5-16 (815) 六六一 株式会社 金剛出版